

地域環境ジュニアパトロール

活動報告書

グループ名	遠敷小ボランティアクラブ
-------	--------------

テーマ	うのせの水をいつまでも美しく！
-----	-----------------

メンバーの氏名	学校名	学年
嶋 口 可 織	小浜市遠敷小学校	5年
鳥 羽 ちひろ	小浜市遠敷小学校	5年
川 渕 有加里	小浜市遠敷小学校	6年
芝 田 美 帆	小浜市遠敷小学校	6年
川 口 未 来	小浜市遠敷小学校	6年
藤 田 桃 子	小浜市遠敷小学校	6年
上 島 光 彩	小浜市遠敷小学校	6年
上 嶋 美 希	小浜市遠敷小学校	6年
石 田 千 佳	小浜市遠敷小学校	6年
芝 崎 麻莉子	小浜市遠敷小学校	6年

指導者氏名	食 見 礼 子	教職員
-------	---------	-----

1. テーマを選んだ理由

「うのせの水に かよい行く 奈良の都の二月堂」と校歌にも歌い、遠敷の子どもたちは、水の美しい“うのせ”をほこりに思っている。奈良の二月堂のお水取りの水を、ここ若狭 遠敷にある“うのせ”から送っていると言い伝えられているからである。このうのせの水とそれを取りまく環境に関心を持たせ、この美しさを守ろうとよびかけて、もっと大きな環境・自然に目を広げさせたいと考えた。

2. 活動の記録

夏休み期間中に、全員では、3回の活動を行った。

1回目は、美しい自然にふれ、それを楽しむ 水遊び。

2回目は、1回目の活動で気づいたことをもとに、うのせ清掃活動。

3回目は、“うのせ”でくらす動物（魚や昆虫）の観察

各メンバーは、いつも何気なくふれている うのせの水や そのまわりをもう一度見直すことによって、そこにすむ生き物たちに関心を持ち、ごみを集めてみて意外に多いごみの量に驚き、環境に対する関心を高めていったようである。

3. メンバーの感想

上島 光彩 うのせのことについて

私は、1回目にうのせへいってみて、きれいだなと思いました。だっておよいでいる人もいたし、川もきれいだったからです。でも、いざそうじをしていると、と一ってもよごれていて、「うわあ」とおどろきました。

よく、こんなところでおよいでられるなと思いました。でも、そういうのは、一人一人の心がけで、なくせることだと思います。

でも、そういうことは、なかなかできることではないから、そういうことに、がんばってほしいと思います。

川淵 有加里 うのせのごみひろい

およぐ所になくても、上に行ってみたら、はりがねやカンがあったから、あぶないと思いました。うのせの水はきれいだけど、とてもあぶないと思いました。はりがねにひっかかるとあぶないと思いました。



手に持ち切れないよ

うのせよ美しく！
みんなで ごみ集めを
しました。



水の中にあきかんも落ちてたよ



ごみ袋に集めてみよう！



こんなにごみが集まった！

石田 千佳 遠敷の環境じまん

遠敷川がきれいなことです。夏は、あまり水がないけれど、今は水があり、とてもすんでいてきれいです。うのせもきれいです。少々ゴミがありますが、おたまじやくし、めだか、ときには、あゆを目にすることもあります。水の流れがゆるいところ、つよいところがあって、おもしろいです。

遠敷には、神社、寺がたくさんあります。神社には、「千年杉」という大きな木があります。今でもまだ育ち続けています。寺にも、松などがあります。とてもじまんになります。

遠敷は、とてもきれいです。私のじまんでできるところです。このまま、ずっときれいな遠敷でいてほしいです。

芝崎 麻莉子 うのせでごみひろい

うのせでごみひろいをした時、いつもいっている場所なので、ゴミはすくないかなあと思っていたのですが、行ってみると、とてもたくさんあって、おどろきました。水質は、きれいで、すきとおるぐらいだったのですが、ごみの多さには、本当にびっくりしました。はりがねなど、あぶないものも落ちていました。

いつもきている、身近な所にもこんなにたくさんあるのは、私たちが、ゴミを出しているということです。これからは、ゴミを出さないように、そして、ゴミがあったらちゃんとしまつするようにしたいです。

嶋口 可織 うのせのゴミひろい

わたしは夏休みにはいつものように泳ぎに行っていたけどあんなにゴミがおっていたとはおもいませんでした。ワイヤーやはりがねのようなあぶないきけんなものがおちていてびっくりしました。いつも、泳ぎに行くのにこんなものがおちているなんてこわいな。でもこれは、わたしたちがしたことだからそんなことは言えません。これからは川をきれいにしたいです。

藤田 桃子 うのせでゴミ拾いをして

うのせは、若狭の観光地の中でも、とてもきれいな場所で、私の自まんでできる所です。

でも、いざ行ってみると、予想以上のゴミがたくさん落ちていて、私もおどろきました。こういう大切な場所を守るためには、一人一人が気をつければいけないんだなと思いました。

鳥羽ちひろ うのせ

私たちボランティアクラブのパトロールたいたちは、うのせのゴミひろいをしました。うのせの川にもぐってはりがねをひろったりあきカンをひろったりしました。あんなにきれいなうのせも、よく見るとたくさんのゴミがおちていました。とてもあぶない物やまだつかえる物までおっていました。私たちがあきカンやゴミをひろっても、まだすてる人がいるかぎりゴミはふえつづけるのです。

私たちの見えない所にたくさんのゴミがおっている。

自然にゴミがなくなる日はいつくるのでしょうか。

上嶋 美希

わたしと未来さんが2回目行ったとき、1回目とちがって、水がとてもきれいで、足をつけていると、魚たちがよってきた。1回目は、ゴミひろいをしていたので、あまり自然を見ることができなかったけれど、2回目は、美しい1回目には見られないことが見えた。この自然のままのうのせがずっとこのこっていてほしいなあ。

芝田 美帆 うのせのそうじ

私の家の近くには、きれいな川があります。

名前は「うのせ」と言います。

私たちは、その「うのせ」の川をもっともっときれいにしようと思い、私たちボランティアクラブは、みんなで、そうじにでかけました。

私が思ったより、ごみは、いっぱいありました。

まだごみは見えない所にあったかもしれません。だから、またそうじに行きたいです。

川口 未来

私は、うのせの2回目 きれいなうのせで魚がいっぱいで、トンボがいてきれいでした。ゴミがなくて私達は、やくにたてたと思います。もっときれいになり、自然を守り、生き物が幸せに生きられるようになってほしいです。

4. 指導者の感想

時代の流れの中で、現在の子どもたちは「学校」のわくの中で暮らす時間があまりにも多くなり、いなかの子でも、意外に自然とふれあう時間が少ない。そういった子供たちを、自然の中に連れだすと、大よろこびで自然と遊ぶ。そういう体験を経てはじめて、自然の大切さを感じ、それを守っていこうとする気持ちも育つよう

に思われる。

5. その他

このあと、図書館などで資料を求め、美しい自然の中で育つ生き物について調べさせたい。そして、自然環境とは生き物たちが作りあっている世界だということろまで目を広げさせたい。

